

大阪の気候変動の情報を発信します！ おおさか気候変動適応センター

○高井雄一郎、今立高廉、小谷充慶（環境研究部）

1. 背景と目的

気候変動により人間社会や自然生態系が危機に陥らないためには、温室効果ガス排出削減の取組み「緩和」を行っていく必要がある。この「緩和」を実施しても気候変動が避けられないという予測も報告されているため、その影響を回避・軽減する「適応」が必要となる。

環農水研は、気候変動適応法に基づき、令和2年4月に大阪府から「おおさか気候変動適応センター」として指定され、府域における気候変動適応に関する情報収集・分析・発信等に取り組んでいる。また、環農水研内の農業や漁業、自然生態系、暑さ対策等の研究部門と連携して「適応」に向けた技術開発を促進している。

2. 事業の内容

- (1) 府域の気候変動影響及び気候変動適応に関する科学的知見や優良事例等の収集・整理・分析

気候変動適応近畿広域協議会や国立環境研究所との共同研究(適応型)に参画する等、多様な研究機関等と連携して気候変動適応に関する科学的知見等を収集する。

- (2) ウェブサイト等による情報発信・相談対応

「おおさか気候変動適応センター」のホームページを立ち上げ、将来予測される影響や分野ごとの適応策、各種イベント情報等の様々な発信する。

- (3) 気候変動適応策の推進に関する技術支援

大阪府や外部団体の主催するセミナーに講師を派遣したり、府民対象のイベントを開催したりすることで、府域の気候変動適応策に対する技術支援を行う。

3. 今後の方向性

- (1) 事業者向けセミナー等の開催

令和3年度以降に、屋外業務の際の暑さ対策等を普及啓発するためのセミナーの開催や暑さ対策技術の検証等を実施する予定。

- (2) 府域の暑さ対策への技術的支援

令和3年度から全国で施行される予定の熱中症アラートを活用し、暑さ対策等に役に立つ情報を提供する等の新たな取組みを検討する予定。